

T. C. 用(写真-1)と C. T. C. 用(写真-2)があり、前者は*軌道回路送受信機・信号符号送受信機の各ユニット、後者は* C. T. C. 論理装置の各ユニット単体の特性試験を行なう。

試験器試験盤には電圧計・電流計・レベル計・ユニットジャック盤および操作ダイヤル電けん(鍵)等が取り付けられており、そのほか試験用電源が内蔵されている。そして試験すべきユニットを、定められたジャック盤に差し込み、試験電源を

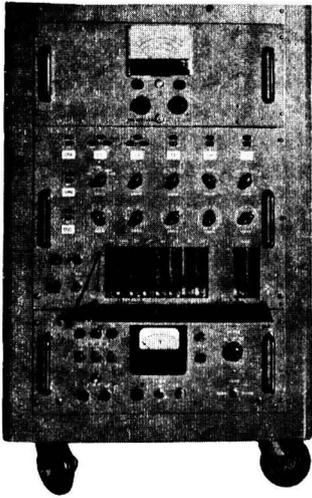


写真-2 ユニット試験器(C. T. C. 用)

入れ、ある定められた試験条件を接続することによって、測定器によりそのユニットの良否が判定できる。(長嶋 隆)